

令和7年度 一関市立藤沢中学校 第2回学校運営支援協議会 会議録

1 会議名 令和7年度 一関市立藤沢中学校 第2回 学校運営支援協議会

2 開催日時 令和7年12月8日(月) 13:30～15:00

3 開催場所 一関市立藤沢中学校 1階 会議室

4 出席者

星義弘委員(会長)、櫻井博勝委員(副会長)、千葉英利子委員、千田恵子委員、
佐藤聖子委員、菊池慶正委員、大川憲一委員(校長)、佐々木済通委員(副校長)

以下は熟議から参加

生徒会執行部7名、奥遼哉教諭(生徒会担当)

5 議題

(1) これまでの学校運営について

ア 生徒指導関係

イ 学力向上

ウ 部活動

エ 学校評価アンケートの結果

(2) 熟議「より良い学校・地域づくりをするためには」

(3) その他(情報交換含む)

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者 1人

県南教育事務所 社会教育主事 花輪 忠紘 氏

8 議事内容

(1) これまでの学校運営について

これまでの学校運営について、大川委員(校長)より、別紙資料に基づき報告、説明を行った。以下それに対する質問・意見。

・協議は星委員が進行

【質問・意見】

千田委員 キャリア教育に関わって

社会体験学習で藤沢支所の告知放送で生徒がきれいな言葉遣いでしゃべっていた。
大変立派であった。

千葉委員 生徒の興味の持ち方について

子どもたちが物事を取り組むとき、モチベーションを維持するのは難しいが、
興味があることは夢中になって取り組む。学校でも子どもたちが喜ぶ、楽しい、
興味を持つことをもっと発掘していくことが大切と考える。

千田委員 合唱について

文化祭で合唱を拝聴した。すばらしかった。合唱は先輩の姿を1、2年生が見て
みんなで一緒に取り組んでいくと、さらに高みが増すのではないかと。

櫻井委員 生活態度について

文化祭の際、生徒がしゃべる人の方に体を傾け聞いている姿が立派と感じた。生
徒アンケートの質問項目「学校は楽しい」「ルールやマナーの意味を考え、約束を

守って行動している」の肯定的回答が9割を超えていることも関係しているのではないか。

星 委員 学力向上に関わって

ある地方では、観光ガイドの方が海外からの観光客に対して、「目をみて話す」ことを意識して取り組んでいるとのこと。子どもたちも「この取り組みをなぜ行うのか」「何のために行うのか」など根拠を持ち活動することが大切と考える。

佐藤委員 メディアコントロールについて

保護者アンケート結果において質問項目「家庭でインターネットの利用についてルールを決めている」の肯定的回答が低かったことに係り、保育園においても、携帯電話を子守り代わりに使用している保護者は多いと感じる。子どもが小さい頃からのメディアに関わるルールづくりを保護者にも呼びかけていく。

(2) 熟議 テーマ「より良い学校・地域づくりをするためには」

ファシリテーター：佐々木委員（副校長）

ア アイスブレイキング 「バースデーチェーン」

- ・言葉を発せず、ジェスチャーのみで1月1月から12月31日まで並ぶ
- ・その順番で、熟議のグループを作成。「大人2、子ども2」が2つ、「大人1、子ども2」「大人2、子ども1」がそれぞれ1つの4グループを作成。

イ 熟議の方法、ルールの確認

- ・3ステップで実施する。
- ・ルールは3つ説明をした。
 - ①出てきた意見を否定しない。②積極的に話をする。③腕組みをしない。

ウ 熟議 次の3テーマで実施

ステップ1「藤沢中学校・藤沢町のよいところはなにか」

ステップ2「より良い学校・地域づくりの妨げになっているものはなにか」

ステップ3「より良い学校・地域づくりするために自分ができることはなにか」

- ・模造紙と付箋、ペンを用意し、自分の考えを1つ1枚の付箋に記入。模造紙に貼る。
- ・ステップ1、2が終わるごとに、各グループに1人残り、新しいグループメンバーに話し合った内容を説明する。

エ まとめ

ステップ3の話し合いを終え、「より良い学校・地域づくりをするために自分ができることは何か」を1つ挙げると何かを、付箋に記入し、参加者全員が1つの模造紙に貼った。ファシリテーターが内容をまとめた。

【まとめた内容】

「地域の祭りや行事に参加する」、「学校、地域の方と協力して環境整備をする」など「地域」というキーワードを挙げる方が多かった。また人材育成の重要性、研修会の開催を述べる方など藤沢町の次世代を意識した意見もみられた。

(3) その他（情報交換含む）

特になし

9 担当 一関市立藤沢中学校 副校長 佐々木 済通